

## □開催概要

名 称	グローバルフェスタ JAPAN2009
会 場	日比谷公園
日 時	平成 21 年 10 月 3 日(土)・4 日(日) / 10 時~17 時
入場料	無料
テーマ	地球と世界の今を、楽しみながら知る 2 日間
主 催	グローバルフェスタ JAPAN2009 実行委員会
共 催	外務省、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、(特活)国際協力 NGO センター (JANIC)
後 援	総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、千代田区、社団法人日本新聞協会、NHK、社団法人日本民間放送連盟、財団法人自治体国際化協会、財団法人国際開発高等教育機構、社団法人青年海外協力協会、社団法人日本経済団体連合会、等
協 賛	味の素株式会社、株式会社オリエントランド、株式会社ジェイティービー、住友化学株式会社、株式会社セブン&アイ・ホールディングス、ソニー株式会社、大成建設株式会社、株式会社大和証券グループ本社、日本電信電話株式会社、株式会社日立プラントテクノロジー、株式会社リコー
協 力	読売新聞社、国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所/国連 UNHCR 協会、明治乳業株式会社
結 果	来場者数： 集計中 (前年：96,000 人) 文部科学省テント来場者数：3 日 206 人 (前年：114 人) 4 日 327 人 (前年：225 人) 計 533 人 (前年：339 人) 参加団体：援助関連政府機関・公益法人、国際機関、大使館、青年海外協力隊 関連団体、NGO 団体関連、自治体等 約 250 団体

グローバルフェスタ JAPAN2009WEB サイトより抜粋したものを元に作成 [http://www.gfjapan.com/index\\_02.html](http://www.gfjapan.com/index_02.html)

## □出展計画

名 称	文部科学省 国際協カイニシアティブ
日 時	平成 21 年 10 月 3 日(土)・4 日(日)/10 時~17 時
出展場所	ブルー・エリア (共催団体、国際機関・その他) B-17
目 的	一般の方々への事業の広報 (1) 国際協カイニシアティブの取組 (2) 青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」
内 容	(1) 平成 21 年度教育協力拠点形成事業採択機関の活動紹介、国際協力活動の現場で活用するマニュアルや教材などの展示 (2) 現職の教員を青年海外協力隊員として開発途上国に派遣する活動を紹介する写真やパネルを展示、帰国隊員による説明
参加 スタッフ	現職教育特別参加制度の説明者 3 日(土) / 対馬公絵 教諭 (横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校) 平成 19 年度一次隊 派遣先：ウズベキスタン 4 日(日) / 柳澤由子 教諭 (横浜市立新石川小学校) 平成 19 年度一次隊 派遣先：ホンジュラス

## □会場風景



10/3、「環境・気候変動問題」を主テーマに、グローバルフェスタ JAPAN2009 が開幕した。時折スコールのような雨が降る空模様にもかかわらず、開演と同時に会場は多くの人々で溢れ、活況を呈した。



**【テント内レイアウト】**  
3 回目の出展となった今回は、平成 21 年度「国際協力イニシアティブ」協力拠点形成事業に採択された 23 機関の活動を全て紹介するという新しい試みに挑戦した。





【10/3 青年海外協力隊帰国現職教員平成19年度一次隊（派遣先：ウズベキスタン）対馬先生】  
色鮮やかなウズベキスタンの民芸品が並び、雨でどんよりとした空気が明るくなった。優しい語り口で丁寧に説明される対馬先生に、将来の夢を胸に抱く多くの学生たちが耳を傾けていた。



【10/4 青年海外協力隊帰国現職教員平成19年度一次隊（派遣先：ホンジュラス）柳澤先生】  
2日目は天気も回復し、会場は大賑わいとなった。文科省のテントも、元気一杯の柳澤先生と次々に訪れる来場者との活気あふれるやり取りで大いに盛り上がった。



前年度をはるかに上回る来場者数に国際協力への関心の高まりを実感した。



お忙しい中、展示資料の制作等々にご協力いただいた課題実施者の皆様方に感謝申し上げます。また、テントに訪れてくださった先生方、ありがとうございました。